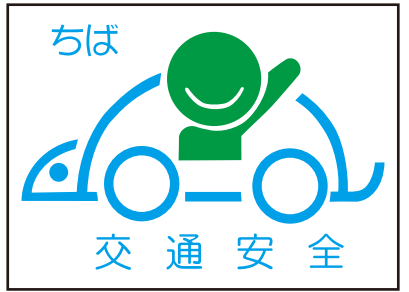


交通ちば



VOL.533 新年号  令和7年1月

公益財団法人 千葉県交通安全協会
千葉県交通安全活動推進センター



「交通安全県ちば」の実現を目指して

公益財団法人千葉県交通安全協会

会長 小堀 陽史

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から当協会の交通安全活動に対しまして、深いご理解とご支援をいただいておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、ここ数年における千葉県内の交通事故勢につきましても、交通事故死者数が依然として全国ワースト上位に位置しており、死者の約半数を高齢者が占めているほか、横断歩道や道路を横断中に被害に遭う方も多く、飲酒運転による交通事故も後を絶たないなど、厳しい状況であります。

千葉県では飲酒運転根絶に向け、「飲酒運転はしない・させない・許さない」という県民意識の高揚を図っており、これを受け当協会では、各季の交通安全運動を中心に、事業所や飲食店に対して「飲酒運転根絶宣言店」の登録を呼びかけるとともに、自動車で仲間や知人と飲食店などへ行く場合は、お酒を飲まない人を決めて、飲酒運転の防止を図る「ハンドルキーパー運動」を展開しました。

また、横断歩道を横断中の歩行者の保護を強化するために、横断歩道を渡ろうとしている歩行者を認めた場合は、停止と安全に横断させることを周知する「ゼブラ・ストップ活動」にも取り組んだところであります。

さらには、自転車に乗る人の重傷事故増加に伴い、令和5年4月1日から自転車に乗るすべての人に、ヘルメットの着用が努力義務化されたところであります。

が、昨年7月の調査では、千葉県の自転車ヘルメットの着用率は全国平均の17パーセントを大幅に下回る6.5パーセント・全国ワースト2位という極めて厳しい現状であります。これを踏まえ、自転車ヘルメット着用率の向上にも取り組む必要があります。

当協会といたしましては、これら3つの対策を積極的に取り組むとともに、県警察をはじめ、関係機関・団体の皆様とより一層の連携を深め、悲惨な交通事故を減少させるための交通安全活動に邁進してまいります。

いと考えておりますので、当協会の活動に、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご健勝、並びに交通事故のない安全で安心して暮らせる「交通安全県ちば」の実現を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





「交通安全県ちば」の確立を目指して

千葉県知事 熊谷 俊人

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃から交通事故防止に向け、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした交通安全教育や、街頭での広報・啓発など、地域に密着した交通安全活動に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の本県の交通事故情勢を見ますと、死者数が全国ワースト上位であったほか、依然として飲酒運転による交通事故や、高齢者や子供が巻き込まれる交通事故が発生するなど、極めて厳しいものとなっております。

県では、「第11次千葉県交通安全計画」に基づき、高齢者の交通安全対策、自転車の安全利用対策、悪質・危険な運転者への対策、横断歩道における歩行者保護対策などを推進するとともに、四季の交通安全運動をはじめめあらゆる機会を通じて広報・啓発活動や交通安全教育を積極的に実施

しているところです。

特に、飲酒運転の根絶に向けて、昨年3月には令和6年度から令和10年度を計画期間とする「千葉県飲酒運転根絶計画」を策定し、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」という県民意識の定着に向けた環境づくりを推進しています。

加えて、自転車乗車用ヘルメットの着用促進に向けた広報・啓発や、横断歩道における歩行者優先義務の浸透を図る「ゼブラ・ストップ」の推進など、「交通安全県ちば」の実現に向け、県民の皆様とともに心を一つにして取り組んでまいります。

交通事故を減少させるためには、日々、交通安全活動に御尽力いただいている皆様のお力添えが不可欠です。今後とも、安全で安心な交通環境の実現に向けて御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



「交通安全県ちば」の実現に向けて

千葉県警察本部長 宮沢 忠孝

明けましておめでとうございます。

公益財団法人千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会の皆様におかれましては、御家族とともに穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、平素から地域における交通安全活動の推進に御尽力いただくとともに、警察行政各般にわたり、深い御理解と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年中の県内における交通事故情勢につきましては、交通事故の発生件数及び負傷者数は昨年と比べて減少したものの、四輪乗車中の交通死亡事故が多数発生するなど、交通事故死者数は依然として全国ワースト上位県であり、飲酒運転による交通事故についても増加するなど、大変厳しい情勢でした。

このような情勢を踏まえ、県警といたしましては、悲惨な交通事故を1件でも多く抑止するため、「飲酒運転の根絶に向けた取組の推進」、「歩行者保護「ゼブラ・ストップ」等の徹底」、「運転に集中させるための交通環境の醸成」、そして「自転車その他の小型モビリティ対策の強化」を4つの柱として、飲酒運転を始めとする悪質・危険な交通違反の指導取締り、こどもや高齢者を始めとした歩行者の安全確保と自転車や特定小型原動機付自転車を始めとした小型モビリティ利用者等の遵法意識の向上に向けた交通安全教育・広報啓発活動の推進、交通安全施設等の整備などの諸対策を一層推進してまいります。

特に悪質危険な犯罪である飲酒運転を根絶するためには、「飲酒運転は絶対しない・させない・許さない」という強い信念を持って取り組んでいくことが大変重要であります。昨年3月に策定された「千葉県飲酒運転根絶計画」に基づき、関係機関、団体等の皆様と連携・協働しながら、県民総ぐるみで各種対策を推進してまいります。

皆様におかれましては、「交通安全県ちば」の実現に向け、交通事故の防止と交通安全活動に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会の益々の御発展、皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます。

第15回 千葉交通安全高齢者自転車大会を開催

令和6年10月24日(木)、千葉市美浜区の花見川緑地交通公園において、「第15回千葉交通安全高齢者自転車大会」を開催しました。

大会には、各地区交通安全協会から、7チーム・21名が参加し、午前中は交通規則や標識に関する学科テスト、午後からは園内のコースを使用した実技テストが行われ、選手は安全走行や技能走行に懸命に取り組みました。団体の部入賞チームと個人の部入賞者は次のとおりです。(敬称略)



個人			団体		
優勝	高橋 孝 (ダックス松戸)		優勝	松戸 ダックス松戸	
準優勝	渡邊 秀男 (カモメチーム)		準優勝	千葉西 カモメチーム	
第3位	清水 義男 (ダックス松戸)		第3位	木更津 やつるぎチーム	

令和6年度 地域交通安全活動推進委員研修会を開催

千葉県交通安全活動推進センターでは、交通安全活動を適切に推進するため、10月2日から12月2日までの間に、県内のブロックごとに研修会を開催しました。

研修会では、県警察本部担当官による「県下の交通情勢」に続き、推進センター部長等から、「推進委員の基本的事項」「近年の改正道路交通法」「自転車安全利用など」についての指導が行われました。



佐倉会場



柏会場



千葉会場



木更津会場



茂原会場



旭会場

令和7年使用 交通安全年間スローガン 受賞作品

◎ 運転者(同乗者を含む)に呼びかける部門

内閣総理大臣賞
内閣府特命担当大臣賞
警察庁長官賞

守ろうよ チャイルドシートで この未来
夕暮れに 歩行者を照らす 照(しょう)time
飲む前に 車じゃないよね? 再確認

◎ 歩行者等に呼びかける部門

内閣総理大臣賞
内閣府特命担当大臣賞
警察庁長官賞

危険です ながらスマホで 踏むペダル
見えないを 見えるに変える 反射材
ヘルメット かぶるあなたは カッコいい

◎ こどもたちに交通安全を呼びかける部門

内閣総理大臣賞
内閣府特命担当大臣賞
文部科学大臣賞
警察庁長官賞

青だけど 自分の目で見て たしかめて
てをあげて くるまにおしらせ ぼくはここ
まだ行ける? いいえ黄色は もう止まれ
反射材 わたしとかがやく 夜の道



各地の交通安全活動ニュース



大多喜 祭礼に伴う交通整理活動及び安全運転の呼び掛け活動の実施



野田 大型商業施設におけるサインプレートを活用した飲酒運転根絶活動の実施



千葉東 県立高校前周辺交差点における自転車マナーアップ活動の実施



市原 市主催の祭礼に参加し交通安全等のPR活動を実施



柏 JR南柏駅周辺における自転車安全キャンペーンの実施



船橋 JR船橋駅北口における飲酒運転撲滅キャンペーンの実施



君津 管内に設置されたカーブミラー清掃活動の実施



流山 流山おおたかの森駅構内における飲酒運転根絶キャンペーンの実施



浦安 新浦安駅周辺における自転車安全キャンペーンの実施



富津 主要交差点におけるツール・ド・ちば2024参加者の交通整理活動の実施



佐倉 飲酒運転根絶に向けた折り紙入りチラシの作成と配布



市川 通称ペンギン通りにおける自転車ヘルメット着用推進キャンペーンの実施



館山 幹部交番における優良運転者等の表彰伝達式の実施



東金 こども園における交通安全教室の実施



行徳 JR行徳駅前周辺における自転車安全キャンペーンの実施

賛助会員入会のお願い

公益財団法人千葉県交通安全協会は「交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県」をつくるために各種の交通安全事業を行っています。当協会の活動にご賛同いただける個人又は団体に賛助会員としての入会をお願いいたします。詳しいことは、右までお問い合わせください。

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会

ホームページアドレス

<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番

千葉県警察本部交通部運転免許本部内

電話 043-271-8481

